令和２年度　東筑紫短期大学　教員情報

【美容ファッションビジネス学科】

井上 登美子（イノウエ トミコ）　INOUE Tomiko　教授〔美容ファッションビジネス学科長〕

所　　属	東筑紫短期大学　美容ファッションビジネス学科
担 当 科 目	〔美容ファッションビジネス学科 学科共通科目〕 ・美容ファッションビジネス論 ・ブライダルプランナー演習Ⅰ、ブライダルプランナー演習Ⅱ ・初年次教育・キャリアアップ演習Ⅰ、キャリアアップ演習Ⅱ 〔美容ファッションビジネス学科 ファッション・ビジネスコース〕 ・ファッションデザイン論 ・コスチュームワーク ・ファッションデザインⅠ、ファッションデザインⅡ ・ファッション販売論 ・ファッションマテリアル ・コスチュームアートⅠ、コスチュームアートⅡ ・アクセサリーワーク ・トータルファッション演習Ⅰ、トータルファッション演習Ⅱ 〔美容ファッションビジネス学科 美容師コース〕 ・クラフトデザイン
専 門 分 野	■　被服学（ファッションデザイン）
最 終 学 歴	東筑紫短期大学　被服科　被服専攻
学　　位	短期大学士
職　　歴	東筑紫短期大学 副手　（昭和 55 年 4 月～昭和 60 年 3 月） 東筑紫短期大学 助手　（昭和 60 年 4 月～平成 18 年 3 月） 東筑紫短期大学 講師　（平成 18 年 4 月～平成 24 年 3 月） 東筑紫短期大学 准教授　（平成 24 年 4 月～平成 27 年 3 月） 東筑紫短期大学 教授　（平成 27 年 4 月～現在に至る） 東筑紫短期大学 美容ファッションビジネス学科　学科長　（平成 28 年 4 月～現在に至る）
教育上の業績	①ファッションショー（卒業制作、大学祭）、造形作品発表会　等 学生の作品制作からパフォーマンス（表現能力）の向上までを視野に、一方では、地域社会へ向け、「本学の特色あるファッションデザイン教育」を発表・貢献活動する場として実施している。このことにより、教科教育における学生の学習意欲及び教育効果も高まった。 ○卒業制作ファッションショー　（昭和 60 年 3 月～令和 2 年 2 月）　35 回 ○大学祭ファッションショー　（昭和 60 年 11 月～令和元年 11 月）　34 回 ○造形作品発表会　（昭和 61 年 7 月～平成 3 年 7 月）　6 回 ○地域・社会からの要請により実施した活動（ショー、作品展示等） （昭和 57 年 10 月～令和元年 12 月）　70 回 ②近年における教育成果《産官学連携活動》 ○「 Macaron Party 」産学連携新商品（靴下）開発プロジェクト 東筑紫短期大学美容ファッションビジネス学科　トータルファッションコース 2 年生が地元靴下メーカーの（株）藤本コーポレーションと 2011 年 4 月より推進し、新商品の靴下を制作。「着圧機能」を持たせ、マテリアルの糸選びから、製品のテクスチャー、はきごごちまで考察を重ね、パッケージデザインやラッピング、ネット販売ルートまで全てを検討し商品化した。 （平成 24 年 2 月 25 日～発表）

	○「綺羅星プロジェクト☆」官学連携による取り組みの一環として 福岡県警小倉北署の依頼により、東筑紫短期大学美容ファッションビジネス学科　トータルファッションクリエイトコース１年生が、高齢者の夜間歩行時における安全面の強化を目的とし、反射素材を使用した衣服を制作。 ○平成 24 年秋の交通安全運動週間初日、平成 24 年 9 月 21 日（金）、北九州芸術劇場 大ホール（リバーウォーク北九州）で開催された「なくそう!!飲酒運転と高齢者の交通事故」決起大会において、「反射材ファッションショー」を実施。この活動内容に対し、小倉北署より「感謝状」を贈呈された。 ○平成 27 年秋の交通安全県民運動前日イベントとして、平成 27 年 9 月 18 日（金）、北九州芸術劇場 中ホール（リバーウォーク北九州）で開催された「子供と高齢者の交通事故をなくそう」において、「反射材ファッションショー」を実施。この活動内容に対し、小倉北署より「感謝状」を贈呈された。 ○平成 28 年秋の交通安全県民運動で、平成 28 年 9 月 23 日（金）、北九州芸術劇場 中ホール（リバーウォーク北九州）で開催された特別イベントとして「反射材ファッションショー」を実施。 この活動内容に対し、小倉北署より「感謝状」を贈呈された。 ○「反射材Ｔシャツ」産学連携による取り組みの一環として 平成 31 年 3 月、ファションビジネスコース（ファッションフィールド）１年が、福井の反射材メーカーと共同で商品開発。夜間交通安全を念頭に反射材を使用したＴシャツを作成。クラウドファンディングで出資者を募り 5 月からウェブストアで販売。
	③近年における教育成果《学生の受賞　等》 ○北九州エコデザインコンペティション 2004「ネオジャパネスク」展示 作品のクオリティや活動に対し「特別審査員賞」受賞　（平成 16 年 10 月） ○わっしょい百万夏まつり 北九州看板娘 衣装デザインコンペティション 「グランプリ」１点、「優秀賞」１点　（平成 20 年 8 月） ○わっしょい百万夏まつり 北九州看板娘 衣装デザインコンペティション 「グランプリ」１点、「優秀賞」１点、「奨励賞」１点　（平成 21 年 8 月） ○2009 LIBRE Fashion Festival in ACROS　「モダン シノワズリ」 「LIBRE 賞」受賞　チーム：綺羅（トータル２年１名、美容１年２名）　（平成 21 年 12 月） ○第 17 回靴下求評展「Nostalgie Noir～追憶の黒」「特別賞」受賞　（平成 23 年 11 月）
主な研究活動	**【論文】**
	1.「東筑紫短期大学におけるファッションデザイン教育について ～70 年の歴史とその展望Ⅰ～Ⅵ」 （東筑紫短期大学研究紀要　第 36～41 号　平成 17～22 年　12 月） （概要） ファッションとは、時代を表すキイワードであり、変化し続けるアートでもある。本学「ファッションデザイン教育」70 年の歴史を鑑み、深く理解し、本学の「特色あるファッションデザイン教育」を目標に、新たな展開を試みた。
	2.「コスチュームインスタレーション　～衣服造形作品に関する表現方法についてⅠ、Ⅱ、Ⅲ」 （東筑紫短期大学研究紀要　第 27、28、42 号　平成 8、9、23 年　12 月） （概要） 現代アートの表現方法である「インスタレーション」に着眼し、これをあくまでも「表現形式や技法」と捉え、「コスチューム」を表現するという観点から、作品制作、展開、考察した。
	3.「衣服造形においての装飾技術～フリル」 （東筑紫短期大学研究紀要　第 22 号　平成 3 年 12 月） （概要） 古代から用いられ、現代においても重要な衣服装飾技法の「フリル」に着眼し、その「フリル」がデザイン構成に及ぼす影響は何か、作品制作を通し考察した。

4.「産学連携による靴下の共同開発（1）（2）」（共著）
（東筑紫短期大学研究紀要　第42、43号　平成23，24年　12月）

（概要）
東筑紫短期大学と（株）藤本コーポレーションによる産学連携プロジェクトとして、2011年4月より靴下の共同開発を進めてきた。
その経過報告と「第17回　靴下求評展　特別賞」受賞作品を発表。
産学連携新商品開発　靴下プロジェクト「 Macaron Party 」の報告。

5.「反射素材を使用した衣服の制作Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ～産学官連携による取り組みの一環として」（東筑紫短期大学研究紀要　第43、45～47、49、50号　平成24、26～28、30年、令和元年12月）

（概要）
福岡県警小倉北署の依頼により、夜間歩行者の交通安全における反射材使用の啓蒙活動として、反射素材を使用した衣服を制作。
平成24・27・28年9月、秋の交通安全県民運動の特別イベントとして、北九州芸術劇場（リバーウォーク北九州）で、「反射材ファッションショー」を開催。
平成25年～令和元年9月、「反射材エキシビジョン（東京）」において作品の特別展示。
平成30年、令和元年10月、「反射材フェア（東京）」において本学作品による反射材ファッションショー。
「安全性とおしゃれの両立」「ファッションにおける反射材の可能性」「反射材の特性や効果の認知度向上」等を主軸に展開・活動・報告。

6.「ハロウィンをテーマにしたコスチュームの制作～産学官連携による取り組みの一環として」
（東筑紫短期大学研究紀要　第44号　平成25年　12月）

（概要）
北九州市市制50周年を記念し、産・官・学が連携、地域の活性化へ向けたプロジェクトとして「こくらハロウィン」が計画され、実行委員会メンバーの一員として、また本学科のファッションデザインを専攻する学生とともに「ハロウィンをテーマにしたコスチュームの制作とファッションショー」で参加した活動内容の記録及び報告。

7.「東筑紫短期大学におけるファッションデザイン教育について～近年の地域貢献活動とこれからの可能性」
（東筑紫短期大学研究紀要　第48号　平成29年　12月）

（概要）
これまで、地域社会からの要請により、特に産官それぞれと連携し地域貢献を目標に、本学の特色あるファッションデザイン教育内容により活動を実施してきた。
本稿は2005（平成17）年から2017（平成29）年までの、主に学外における活動記録の報告と、これからの地域社会への貢献活動について、学科として取り組める可能性を考えていきたい。

8.「東筑紫短期大学におけるファッションデザイン教育について～ファッションイベントによる地域の活性化」
（東筑紫短期大学研究紀要　第50号　令和元年　12月）

（概要）
2019年10月5日開催の「TGC北九州」において、選出され発表の機会を得た「本学作品5点」の制作過程や発表までの記録報告と、これまで本学科が実施してきたファッションショーを中心とする地域社会への貢献活動を「ファッションイベントによる地域の活性化」という方向でアプローチした。

【展示発表】

1.　Art to wear 展「無限の空間」（作品展示発表）国際服飾学会　（平成14年7月）

（概要）
服飾起源説の中でも、「装飾欲求説」に着目し、服飾においての「光り、輝き、煌めく」ものや、「透き通る」ものに対する、人間の「美的感性」を模索。また、衣服を単に着るものとしてだけ捉えず、空間までを抱合する作品展開を試作。

	2. crea exhibition 2004～2009・2012 年度（作品展示発表） KDA 北九州総合デザイナー協会　（平成 16 年 4 月～平成 22・25 年 3 月） （概要） 2004. 4「BOUNDLESSNESS OF THE SPACE　無限の空間」 2005. 6「Metamorphose　夢幻」 2006. 6「黎明」 2007. 12「IN FULL BLOOM 夢幻華繚乱」 2008. 11「MANDALA」 2010. 3「Carnaval 仮面の祝祭」 2013. 3「綺羅星プロジェクト☆」
主な社会活動	【地域・社会からの要請により実施した活動】
	1. 平成 18 年度　知識のとびら　生活の達人養成シリーズ（公開講座） 「美しく楽しく装うファッション達人講座」 （概要） 人類においての「衣服起源説」は以前から諸説あるが、そのいずれの説とも複合可能で、近年最も注目されていると思われる「装飾欲求説」を取り上げ、衣服をコミュニケーションメディアの一方法として、「ファッション」が持つ意味と絡ませ捉えてみた。また、「おしゃれ」とは何か。日々の生活の中からヒントを探し、受講者とともに考えてみた。 会場：西日本工業大学　／　主催：西日本工業大学　（平成 18 年 10 月）
	2. 周望学舎　シニアカレッジ　元気にシニアライフを愉しもう 2007 「ひあそび気分でつくる、ふだん着のコサージュ」 （概要） マテリアルにレザーを使用、花弁型にカットしたレザーを裏面から炙り、 エッジをロールさせ、薔薇のコサージュに成形する。シルバーエイジの女性へ向け、気軽におしゃれを楽しめるファッションコサージュの提案。 会場：東筑紫短期大学／主催：北九州市立年長者研修大学校　周望学舎／共催：学校法人　東筑紫学園 （平成 19 年 10 月）
	3. 周望学舎　シニアカレッジ　元気にシニアライフを愉しもう 2014 「ファッションの可能性　～進化するコスチューム」 （概要） 衣服起源説の中でも「装飾欲求説」に焦点をあて、「ファッション」が持つ意味と絡ませ考察した。また「カワイイ」というキイワードについて資料から検証。最後に、これからのファッションの可能性について、身近な例を中心にデモンストレーションを交えながら展開した。 会場：東筑紫短期大学／主催：北九州市立年長者研修大学校　周望学舎／共催：学校法人　東筑紫学園 （平成 26 年 11 月）
	4. 周望学舎　シニアカレッジ　元気にシニアライフを愉しもう 2015 「トータルファッション講座　ファッションで綴る戦前・戦後」 （概要） 本学開学 60 周年記念時に開催したファッションショーの映像資料により、ファッションの戦前・戦後の変遷を紹介。また、反射材を使用したハロウィンコスチュームによるファッションショーを実施した。 会場：東筑紫短期大学／主催：北九州市立年長者研修大学校　周望学舎／共催：学校法人　東筑紫学園 （平成 27 年 11 月 11 日）
	5. 周望学舎　シニアカレッジ　元気にシニアライフを愉しもう 2016 「ファッションの可能性　　～コスチュームアート」 （概要） 本学、宇城記念館の展示作品を見学研修。また、反射材を使用したコスチュームによるファッションショーを実施した。 会場：東筑紫短期大学／主催：北九州市立年長者研修大学校　周望学舎／共催：学校法人　東筑紫学園 （平成 28 年 11 月 9 日）

6.　周望学舎　シニアカレッジ　元気にシニアライフを愉しもう 2018
「ファッションとアートの関係」

（概要）
学科の特色ある教育内容を活かし、地域活性化や社会貢献を中心に実施した近年の活動報告を交え、ファッションとアートの関係を紹介。
会場：東筑紫短期大学／主催：北九州市立年長者研修大学校　周望学舎／共催：学校法人　東筑紫学園
（平成 30 年 10 月 31 日）

7.　周望学舎　シニアカレッジ　元気にシニアライフを愉しもう 2019
「ファッション&ヘアメークショー」

（概要）
学科の特色ある教育内容を活かし、地域活性化や社会貢献を中心に実施した近年の活動報告を交え、ファッションとアートの関係を紹介。
会場：東筑紫短期大学／主催：北九州市立年長者研修大学校　周望学舎／共催：学校法人　東筑紫学園
（令和元年 10 月 30 日）

8. KDA デザイントーク「リアルクローズ vs モード　～カワイイの行方～」

（概要）
「未曾有の不景気」と言われる中、若い女性のファッション購買力にはその影響が感じられない。「オンナノコのファッション」に焦点をあて、リアルクローズ vs モード、ファストファッション、そして全てを網羅する魔法のワード「カワイイ」について、リアルタイムな情報と、そこから出現した事項を、ビジュアル資料を中心に解説した。
会場：東筑紫短期大学　／　主催：KDA 北九州総合デザイナー協会　（平成 21 年 7 月）

9.「綺羅星プロジェクト☆」　～官学連携による取り組みの一環として

（概要）
福岡県警小倉北署の依頼により、高齢者の夜間歩行時における安全面の強化を目的とし、反射素材を使用した衣服を制作。平成 24 年秋の交通安全運動週間初日、「なくそう!!飲酒運転と高齢者の交通事故」決起大会において、ファッションショー形式で発表。この活動内容に対し、小倉北署より「感謝状」を贈呈された。
会場：北九州芸術劇場 大ホール（リバーウォーク北九州）
主催：小倉北警察署　小倉北区交通安全推進協議会（小倉北区役所）　（平成 24 年 9 月 21 日）

10.「Macaron Party」産学連携新商品（靴下）開発　プロジェクト

（概要）
東筑紫短期大学美容ファッションビジネス学科　トータルファッションコース 2 年生が、地元靴下メーカーの（株）藤本コーポレーションと 2011 年 4 月より推進し、新商品の靴下を作成。「着圧機能」を持たせ、マテリアルの糸選びから、製品のテクスチャー、はきごごちまで考察を重ね、パッケージデザインやラッピング、ネット販売ルートまで全てを検討し商品化した。（平成 24 年 2 月 25 日～発表）
第 17 回福岡産業デザイン展（主催：福岡県・福岡産業デザイン協議会）において展示発表。
（平成 24 年 10 月）

11.「BEAUTY BOMB in NEW YORK 2013　～届けよう和の心、知ってもらおう日本」

（概要）ニューヨークにおいて開催された着物ファッションショーの中で、本学より 5 作品を特別出品。
【作品名】：黎明、輪廻、夢幻、曼荼羅、麗
会場：ニューヨーク、グランドセントラルステーション
主催：株式会社芳裳苑　ファッションブライダル LIBRE　（平成 25 年 4 月 19 日）

12.「反射材エキシビジョン 2013」

（概要）
反射材の普及促進、反射材の使用エリアを広げることを目的とし、本学からは反射材使用のコート、ケープ、スカーフ、コサージュ、アクセサリー等を展示発表。
会場：東京芸術劇場　シンフォニースペース
主催：一般社団法人　日本反射材普及協会　　後援：内閣府　警察庁　他　（平成 25 年 9 月 11 日）

13.「反射材エキシビジョン2014」

（概要）
反射素材の特性や効果の「認知度向上」のため、反射材への興味を促すことを目的とし、「ファッションにおける反射材の可能性」を探究、「反射するブライダルドレス」を制作、展示発表。
会場：江戸東京博物館
主催：一般社団法人　日本反射材普及協会　　後援：内閣府　警察庁　他　（平成26年9月9～10日）

14.「反射材エキシビジョン2015」

（概要）
産学官連携による取り組みの一環として反射材を使用したドレスを特別展示 。
反射するハロウィン・コスチューム「Fashion　Sabbath　～装飾主義」
会場：東京芸術センター21階　天空劇場
主催：一般社団法人　日本反射材普及協会　　後援：内閣府　警察庁　他　（平成27年9月11日）

15.「反射材エキシビジョン2016」

（概要）
産学官連携による取り組みの一環として反射材を使用したドレスを特別展示。 反射するブライダル・コスチューム「白のロココドレス」他
会場：東京芸術センター21階　天空劇場
主催：一般社団法人　日本反射材普及協会　　後援：内閣府　警察庁　他　（平成28年9月9日）

16.「反射材エキシビジョン2017」

（概要）
産学官連携による取り組みの一環として反射材を使用したドレスを特別展示。
反射するブライダル・コスチューム「輪廻」
会場：東京芸術センター21階　天空劇場
主催：一般社団法人　日本反射材普及協会　／　後援：内閣府　警察庁　他　（平成29年9月5日）

17.「反射材エキシビジョン2018」

（概要）
産学官連携による取り組みの一環として反射材を使用したドレスを特別展示。
反射するブライダル・コスチューム「魔界の女王」
会場：東京芸術センター21階　天空劇場
主催：一般社団法人　日本反射材普及協会　／　後援：内閣府　警察庁　他　（平成30年9月7日）

18.「反射材エキシビジョン2019」

（概要）
産学官連携による取り組みの一環として反射材を使用したドレスを特別展示。
反射するコスチューム「スチーム パンク ドレス　LOVE　&　PEACE」
会場：東京芸術センター21階　天空劇場
主催：一般社団法人　日本反射材普及協会　／　後援：内閣府　警察庁　他　（令和元年9月13日）

19.「反射材フェア2018」

（概要）
産学官連携による取り組みの一環として、本学の作品のみで構成された反射材ファッションショー
会場：池袋サンシャインシティ　アルパ
主催：一般材団法人全日本交通安全協会　他　／ 後援：警察庁　他　（平成30年10月27・28日）

20.「反射材フェア2019」

（概要）
産学官連携による取り組みの一環として構成された反射材ファッションショー に作品提供
会場：池袋サンシャインシティ　アルパ
主催：一般材団法人全日本交通安全協会　他　／ 後援：警察庁　他　（令和元年10月19・20日）

21.「こくらハロウィン 2013」北九州市制 50 周年記念事業　　（実行委員）

（概要）
市制 50 周年を祝うとともに、小倉都心部の賑わいを創出し、商店街の活性化等を推進するため「こくらハロウィン」を実施し、市民と一緒にまち全体を盛り上げる。東筑紫短期大学は、「オリジナルファッションショー」で参加。
会場：JR 小倉駅　JAM 広場　／　主催：こくらハロウィン実行委員会　（事務局：小倉北区役所）
（平成 25 年 10 月 20 日）

22.「こくらハロウィン 2014」　　（実行委員）

（概要）
産学官連携による取り組みの一環として平成 25 年 10 月に開催された「こくらハロウィン」が好評だった為継続。東筑紫短期大学は、「オリジナルファッションショー」で参加。
会場：JR 小倉駅　JAM 広場　／　主催：こくらハロウィン実行委員会　（事務局：小倉北区役所）
（平成 26 年 10 月 19 日）

23.「こくらハロウィン 2015」　　（実行委員）

（概要）
産学官連携による取り組みの一環として、オリジナル　ファッション&ヘア・メークショーで参加。
会場：JR 小倉駅　JAM 広場　／　主催：こくらハロウィン実行委員会（事務局：小倉北区役所）
（平成 27 年 10 月 18 日）

24.「こくらハロウィン 2016」　　（実行委員）

（概要）
産学官連携による取り組みの一環として、オリジナル　ファッション&ヘア・メークショー。イベント参加者 2,200 名、観客数 約 20,000 名。
会場：JR 小倉駅　JAM 広場　／　主催：こくらハロウィン実行委員会（事務局：小倉北区役所）
（平成 28 年 10 月 16 日）

25.「こくらハロウィン 2017」　　（実行委員）

（概要）
産学官連携による取り組みの一環として、オリジナル　ファッション&ヘア・メークショー。
会場：JR 小倉駅　JAM 広場　／　主催：こくらハロウィン実行委員会（事務局：小倉北区役所）
（平成 29 年 10 月 15 日）

26.「こくらハロウィン 2018」　　（実行委員）

（概要）
産学官連携による取り組みの一環として、オリジナル　ファッション&ヘア・メークショー。
会場：JR 小倉駅　JAM 広場　／　主催：こくらハロウィン実行委員会（事務局：小倉北区役所）
（平成 30 年 10 月 21 日）

27.「こくらハロウィン 2019」　　（実行委員）

（概要）
産学官連携による取り組みの一環として、オリジナル　ファッション&ヘア・メークショー。
会場：JR 小倉駅　JAM 広場　／　主催：こくらハロウィン実行委員会（事務局：小倉北区役所）
（令和元年 10 月 20 日）

28.「ファアプレー　フラッグ　セレモニー」「ハロウィン　ファッションショー」

（概要）
地域活性化を主軸とした社会貢献活動。地元プロサッカーチーム「ギラヴァンツ北九州」から要請され、フェアプレー フラッグセレモニーと、オリジナルのハロウィン　ファッションショーを実施。
会場：ミクニスタジアム　／　主催：（株）ギラヴァンツ北九州　（平成 30 年 10 月 28 日）

29.「JUMPING　Fes　2014」　　（実行委員）

（概要）
小倉を、「若者が創造的活動の拠点として集うまち」として盛り上げるため、夢に向かって活動する若者の発表の場として位置づけ、東筑紫短大は特設ステージにおいて「ファッションショー」で参加。
会場：紫川（リバーサイド）／　主催：小倉 Dream 実行委員会　（事務局：小倉北区役所）
（平成 26 年 9 月 28 日）

30.「JUMPING　Fes　2015」　　（実行委員）

（概要）
小倉を、「若者が創造的活動の拠点として集うまち」として盛り上げるため、夢に向かって活動する若者の発表の場として位置づけ、東筑紫短大は特設ステージにおいて「ファッションショー」で参加。
会場：西日本総合展示場　／　主催：小倉 Dream 実行委員会　　（事務局：小倉北区役所）
（平成 27 年 9 月 27 日）

31.「こくらクリスマスマーケット 2016（JUMPING　Fes　2016）」（実行委員）

（概要）
小倉を、「若者が創造的活動の拠点として集うまち」として盛り上げるため、夢に向かって活動する若者の発表の場として位置づけ、東筑紫短大は「クリスマスファッションショー」で参加。
（平成 28 年 12 月 23 日）
会場：小倉駅　JAM 広場 ／　主催：小倉 Dream 実行委員会　　（事務局：小倉北区役所）

32.「月・太陽・ギリシャ神話」　第 25 回定期演奏会×東筑紫短期大学

（概要）
響ホール室内合奏団と東筑紫短期大学との、10 月 11 日一夜限りのコラボ企画。ギリシャ神話をテーマとした「ナクソス島のアリアドネ」を取り上げ、劇団俳優による音楽劇と、本学学生によるギリシャ神話をモチーフに制作したコスチュームでコラボレーション。
会場：響ホール　／　主催：特定非営利活動法人　響ホール室内合奏団
（平成 26 年 10 月 11 日）

33.「反射材ファッションショー」
平成 24 年度　秋の交通安全県民運動イベント「なくそう!!飲酒運転と高齢者の交通事故」

（概要）
官学連携による取り組みの一環として、反射材を使用したドレスによるファッションショー開催。この活動に対し小倉北警察署より「感謝状」。
会場：北九州芸術劇場　／　主催：小倉北警察署　小倉北区交通安全推進協議会（小倉北区役所）
（平成 24 年 9 月 21 日）

34.「反射材ファッションショー」
平成 27 年度　秋の交通安全県民運動前日イベント「子供と高齢者の交通事故をなくそう」

（概要）
官学連携による取り組みの一環として、反射材を使用したドレスによるファッションショー開催。この活動に対し小倉北警察署より「感謝状」。
会場：北九州芸術劇場　／　主催：小倉北警察署　小倉北区交通安全推進協議会（小倉北区役所）
（平成 27 年 9 月 18 日）

35.「反射材ファッションショー」　平成 28 年度　秋の交通安全県民運動イベント

（概要）
官学連携による取り組みの一環として、反射材を使用したドレスによるファッションショー開催。この活動に対し小倉北警察署より「感謝状」。
会場：北九州芸術劇場　／　主催：小倉北警察署　小倉北区交通安全推進協議会（小倉北区役所）
（平成 28 年 9 月 23 日）

36.「LIGHT　FORCE　STORE」　リフレクターT シャツの開発

（概要）
反射材メーカーと本学がコレボレーション、新商品を開発。
本学学生がデザインした「反射材 T シャツ」を、（株）丸仁により製品化。
クラウドファンディングで出資者を募り、web ストア（楽天）で販売。
株式会社　丸仁　×　東筑紫短期大学（平成 28 年 11 月～）

37.「学生ボランティアによる地域安全に関する検討会」

（概要）
官学連携による取り組みの一環として、市内各大学からの選抜メンバーによる検討会（本学科は、反射材を使用したミニファッションショーにより、地域安全の啓蒙活動を報告）を実施。
会場：小倉北警察署　／　主催：小倉北警察署　　（平成 27 年 10 月 11 日）

38.「性犯罪抑止キャンペーン」

（概要）

官学連携による取り組みの一環として、性犯罪抑止広報啓発活動（チラシやグッズ配布）を実施。

会場：JR 小倉駅連絡通路　／　主催：小倉北警察署

（平成 27 年 10 月 16 日）

39.「小倉イルミネーションモデル撮影会」

（概要）

産学官連携による取り組みの一環として、地域の活性化を目標とする。

会場：小倉井筒屋クロスロード等

主催：小倉イルミネーション実行委員会（構成団体：北九州市、北九州商工会議所、小倉中央商業連合会　他）

（平成 27 年 11 月 22 日、28 日）

40.「HCCC　Higashi Chikushi Christmas Collection」

（概要）

小倉駅を中心とした地域の活性化、地域社会との交流・貢献。KBC ラジオ チャリティミュージックソンの特設ステージを活用。

会場：JR 小倉駅 JAM 広場　／　主催：JR 九州エージェンシー　（平成 27 年 12 月 20 日）

41.「ハロウィン　ワークショップ」

（概要）

ハロウィンがテーマの、幼児～小学生対象のワークショップ。大きなリボンコサージュを学生が指導。

会場：I’m　10 階　／　主催：クロス FM　　BBDO

（平成 28 年 10 月 2 日）

42.「TGC 北九州 2016～2019　東京ガールズコレクション」学生ボランティア

（概要）

地域社会貢献活動の一環として、フィッティングスタッフ（学生ボランティア）として、北九州市からの要請により参加。

会場：西日本総合展示場　／　主催：TGC 東京ガールズコレクション実行委員会

／　共催：北九州市　福岡県　他

（平成 28 年 10 月 9 日、平成 29 年 10 月 21 日、平成 30 年 10 月 6 日、令和元年 10 月 5 日）

43.「TGC　KITAKYUSHU 5th　Anniversary COLLECTION」

（概要）

ＴＧＣ北九州、連続開催 5 周年を記念して、地域の服飾系学校による特別イベントを開催。

北九州市からの要請により、本学もファッション&ヘアメークショーを実施。

会場：小倉駅 JAM 広場　／主催：北九州市都心集客推進委員会

TGC　KITAKYUSHU 5th　Anniversary COLLECTION 実行委員会

（令和元年 10 月 5 日）

44.「TGC 北九州 2019　東京ガールズコレクション」北九州ステージ　作品発表

（概要）

連続開催 5 周年のアニバーサリーステージで、本学作品が選出され発表の機会を得た。

5 月末から約 4 ヶ月かけて制作した作品 5 点を、モデルが着装しランウェイでパフォーマンス

会場：西日本総合展示場　／　主催：TGC 東京ガールズコレクション実行委員会

共催：北九州市　　福岡県　　他

（令和元年 10 月 5 日）

45.「KDA　北Ｑクリエイション　　反射するドレスのファッション ショー」

（概要）

北Ｑクリエイション「高齢社会　これからを生きるヒント」をメインテーマに、あらゆるアプローチでイベントを開催

本学は「おしゃれと安全の両立」をコンセプトに反射するドレスによるファッションショーを実施

会場：ゆうゆう壱番館（高齢者施設）　／　主催：KDA 北九州総合デザイナー協会

（令和元年 9 月 7 日）

	46.「輝くドレスのファッションショー」 （概要） リーガロイヤルホテル小倉、ウェディングフェスティバルにおいて、リーガと本学とのコラボレーション企画。反射材ドレスを中心に、新しいブライダルシーンの提案。 会場：リーガロイヤルホテル小倉　／　主催：リーガロイヤルホテル小倉 （平成 29 年 1 月 22 日）
	47.「北九州ゆめみらいワーク 2017・2018」 （概要） 事業を通して地元企業と市の魅力を伝えることで、学生の職業観の醸成と将来の地元就職につなげる目的で 実施。ハンドマッサージ、ルームフレグランス、ヘアメーク実演、反射材ドレスの展示。 会場：西日本総合展示場　／　主催：北九州市 （平成 29 年 8 月 25・26 日、平成 30 年 8 月 24・25 日）
	48.「北九州ミュージックプロムナード 2017　小倉 Jazz ファッションショー」 （概要） 地域社会の活性化を目標に、東京から招聘されたジャズピアニストのライブ演奏と 、本学は反射材コスチュームによるファッションショーとで 、夕暮れ時のコラボレーション。 会場：小倉井筒屋　クロスロード　／　主催：北九州ミュージックプロムナード 2017 実行委員会 後援：We Love 小倉協議会　（平成 29 年 9 月 23 日）
	49.「TGC 北九州作品　展示発表」 （概要） 北九州市からの要請により、TGC 北九州で発表した本学作品 5 点を「北九州市役所　本庁舎」1F に展示発表。 会場：北九州市役所　本庁舎 1F　／　主催：北九州市　MICE 推進課 （令和元年 11 月 19 日～12 月 19 日）
	50.「クリスマス デコレーション　＆　TGC 北九州作品　展示発表」 （概要） 北九州モノレールからの要請により、地域貢献の一環として、街のにぎわいにつながるよう、制作したクリスマスリースを中心にクリスマスデコレーションを実施。 あわせて、TGC 出品作品 5 点も展示発表。 会場：北九州モノレール　旦過駅　／　主催：北九州高速鉄道株式会社 （令和元年 11 月 27 日～12 月 25 日）
	51.「Monorail　Jack！　クリスマス ファッションショー」 （概要） 北九州モノレールからの要請により、地域活性化を目標に、クリスマスイヴの夕暮れ、モノレールをジャックしてファッションショーを開催。 会場：モノレール　小倉～企救丘（往復）　／　主催：北九州高速鉄道株式会社　東筑紫短期大学 （令和元年 12 月 24 日）
所　属　学　会	国際服飾学会　（昭和 62 年 12 月～現在に至る） KDA 北九州総合デザイナー協会　（平成元年 4 月～現在に至る）
受　賞　歴	KDA デザイン賞　（平成 13 年 7 月）

学校法人 東筑紫学園
東筑紫短期大学
HIGASHI CHIKUSHI JUNIOR COLLEGE

ヤマモト　ヒロタカ
山本 浩貴　YAMAMOTO Hirotaka　特任教授

所　　属	東筑紫短期大学　美容ファッションビジネス学科
担 当 科 目	〔美容ファッションビジネス学科 ファッション・ビジネスコース〕 ・ビジネス実務総論 ・統計学 ・流通論 ・e ビジネス演習 ・データベース演習Ⅰ、データベース演習Ⅱ ・Web デザイン演習
専 門 分 野	■ 情報科学 ■ 経営情報
最 終 学 歴	九州産業大学大学院　修士課程　経営学研究科経営学専攻
学　　位	修士（経営学）
職　　歴	日産ディーゼル南九州販売株式会社（SE として従事）　（昭和 51 年～昭和 61 年） 学校法人花田学園　福岡ビジネス専門学校　講師　（昭和 61 年～平成 10 年） 熊本県立大学、中村学園大学他、非常勤講師　（平成 10 年～平成 14 年 3 月） 東筑紫短期大学 美容ファッションビジネス学科 講師　（平成 14 年 4 月～平成 27 年 3 月） 東筑紫短期大学 美容ファッションビジネス学科 特任准教授 （平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月） 東筑紫短期大学 美容ファッションビジネス学科 特任教授 （平成 28 年 4 月～現在に至る）
教育上の業績	【著書】 「IT セミナー」　（共著）ふくろう出版　（平成 25 年） 「マネジメントのための ICT 基礎講座」　（共著）晃洋書房　（平成 26 年） 【e ラーニング教材の開発】 「就職試験の面接試験対策教材」 「美容実習基礎編」 「日商 PC 検定文書作成試験対策」 「同　データ活用試験対策」
主な研究活動	1. 「e ビジネス、電子商取引に関する研究」 （概要） 近年隆盛の e ビジネスに関する研究を行い、特にマーケティングに与える影響やネット社会独自のビジネスモデル、経済法則などについて研究中。 （学会発表）日本ビジネス実務学会全国大会 ・「企業の実態調査『企業の人材戦略』」 ・「経営環境の変化にともなう仕事・能力の変化とビジネス教育のあり方について」、他数回発表 【論文】 「マーケティング Web 革命 1」（平成 18 年） 「マーケティング Web 革命 2」（平成 19 年） 「次なる Web 革命」（平成 21 年） 「マーケティング Web 革命 3」（平成 22 年） 「e ビジネスにおけるプラットフォーム戦略」（平成 24 年） 「成熟期における e ビジネス戦略」（平成 25 年） 「IoT が e ビジネスに与える影響」（平成 29 年） 「データ経済時代の e ビジネス」（令和元年）

	2. e ラーニング教材開発に関する研究 【学会発表】 「e ラーニングをはじめとする教育の情報化に関する動向とビジネス実務教育への応用」 日本ビジネス実務学会全国大会 (平成 19 年) 他数回発表 【論文】 「e ラーニングをはじめとする教育の情報化に関する動向とビジネス実務教育への応用」学会誌 (平成 19 年) 「動画活用による e-Learning 教材開発 2」 (平成 17 年) 「教育のディジタル化に関する動向と電子書籍」 (平成 23 年) 【開発教材】 「日商 PC 検定　文書作成試験対策」 「日商 PC 検定　データ活用試験対策」 「就職試験の面接試験対策教材」 「美容実習基礎編」
	3. 検定対策教育の指導法に関する研究 (概要) 学生の検定取得教育に関して、さまざまな検定取得のための教育を実施しており、効果的教育方法について研究している。 **指導している検定試験** 「IT パスポート試験」(国家試験) 「情報検定情報活用試験」「日商 PC 検定試験文書作成」「同データ活用」 【論文】 「検定対策教育における e-ラーニングの有効性」2007、他
	4. アクティブ・ラーニングによる教育法の研究 【(研究委託) 全国大学実務教育協会　研究委託】 (概要) 全国大学実務教育協会より 1 年間の研究委託を受け、TBL の有効性を研究し、TBL による「ビジネス実務総論」のテキスト製作迄を目的とする。 (研究テーマ) TBL (Team-Based　Learning) による効果的ビジネス実務総論教育法研究 ・TBL による「ビジネス実務総論」のテキスト作成 (計画) 【学会発表】2015 年日本ビジネス実務学会全国大会にて発表 【論文】 ・「アクティブラーニングの試みとコミュニケーション能力の育成」 (平成 26 年) ・「アクティブラーニングの試みとコミュニケーション能力の育成(2)」 (平成 27 年) ・「2020 年の大学入試改革とアクティブ・ラーニング」 (平成 29 年)
主な社会活動	**日本商工会議所主催検定委員** 日商 PC 検定試験文書作成 日商 PC 検定試験データ活用
	文部省職業教育高度化開発研究委託 産学連携によるシステム開発の教育への効果研究
	全国大学実務教育協会　研究委託 アクティブ・ラーニングによる教育法の研究 TBL (Team-Based　Learning) による効果的ビジネス実務総論教育法研究
所　属　学　会	日本ビジネス実務学会　評議員 (平成 27 年 6 月～現在に至る)

社川（シャガワ） 武弘（タケヒロ）　SHAGAWA Takehiro　准教授

所　　属	東筑紫短期大学　美容ファッションビジネス学科
担 当 科 目	〔美容ファッションビジネス学科 学科共通科目〕 ・キャリアアップ演習Ⅱ 〔美容ファッションビジネス学科 美容師コース〕 ・ヘアメークアップⅠ、ヘアメークアップⅡ ・香粧品化学Ⅰ、香粧品化学Ⅱ ・美容実習Ⅱ、美容実習Ⅳ
専 門 分 野	■　美容全般
最 終 学 歴	福岡美容専門学校　卒業
職　　歴	JKC 株式会社　（平成５年４月～平成９年３月） ビューティーサロン OWL　（平成９年４月～平成 18 年３月） 東筑紫短期大学 美容ファッションビジネス学科 講師　（平成 18 年４月～平成 27 年３月） 東筑紫短期大学 美容ファッションビジネス学科 美容ファッションコース主任 （平成 21 年９月～平成 25 年３月） 東筑紫短期大学 美容ファッションビジネス学科 学年主任（平成 23 年４月～現在に至る） 東筑紫短期大学 美容ファッションビジネス学科 美容クリエイトコース主任 （平成 26 年４月～平成 27 年３月） 東筑紫短期大学 美容ファッションビジネス学科 美容師コース主任 （平成 27 年４月～現在に至る） 東筑紫短期大学 美容ファッションビジネス学科 准教授 （平成 27 年４月～現在に至る）
教育上の業績	○美容師国家試験対策として美容師国家試験を想定した模擬試験を行う ○美容師国家試験対策を想定し筆記試験作成 ○実技・筆記共に習熟度に合わせた個別指導の実施により合格率の向上を実現した。
	【国家試験結果】
	第 17 回（平成 20 年３月） 新卒者 18 名受験　合格者 12 名　合格率 66.7%(全国合格率 80.8%)
	第 18 回（平成 20 年９月） 既卒者　６名受験　合格者４名　合格率 66.7%(全国合格率 50.4%)
	第 19 回（平成 21 年３月） 新卒者 31 名受験　合格者 30 名　合格率 96.8%(全国合格率 81.0%) 既卒者　３名受験　合格者 ２名　合格率 66.7%(全国合格率 81.0%)
	第 20 回（平成 21 年９月） 既卒者　２名受験　合格者０名　合格率.0%(全国合格率 50.6%)
	第 21 回（平成 22 年３月） 新卒者 17 名受験　合格者 17 名　合格率 100%(全国合格率 80.5%) 既卒者　２名受験　合格者１名　合格率 50.0%(全国合格率 80.5%)
	第 22 回（平成 22 年９月） 既卒者　１名受験　合格者１名　合格率 100%(全国合格率 45.2%)
	第 23 回（平成 23 年３月） 新卒者 28 名受験　合格者 24 名　合格率 85.7%(全国合格率 80.0%)
	第 24 回（平成 23 年９月） 既卒者　２名受験　合格者１名　合格率 50.0%(全国合格率 48.8%)
	第 25 回（平成 24 年３月） 新卒者 27 名受験　合格者 26 名　合格率 96.3%(全国合格率 86.1%)

	第26回（平成24年9月） 既卒者　1名受験　合格者1名　合格合格率100%(全国合格率86.1%)
	第27回（平成25年3月） 新卒者18名受験　合格者17名　合格率94.4%(全国合格率80.4%)
	第28回（平成25年9月） 既卒者1名受験　合格者1名　合格率100%(全国合格率49.4%)
	第29回（平成26年3月） 新卒者18名受験　合格者18名　合格率100%(全国合格率80.5%)
	第31回（平成27年3月） 新卒者19名受験　合格者18名　合格率94.7%(全国合格率88.9%)
	第33回（平成28年3月） 新卒者9名受験　合格者9名 既卒者1名受験　1名合格　合格率100%(全国平均率89.1%)
	第35回（平成29年3月） 新卒者14名受験　合格者15名 既卒者1名受験　1名合格　合格率100%(全国平均率89.1%)
	第37回（平成30年3月） 新卒者12名受験　合格者12名　合格率100%(全国平均率85.8%)
	第39回（平成31年3月） 新卒者11名受験　合格者11名　合格率100%(全国平均率86.2%)
	第41回（令和2年3月） 新卒者14名受験　合格者13名　合格率92.8%（全国平均率85.1%）
	・教授会研究発表会メイクアップ　(平成18年)
	・レジーナフォトコンペティション敢闘賞　(平成20年)
	・レジーナフォトコンペティション敢闘賞　(平成21年)
	・H&Mパリコレオーディションファイナル　(平成22年)
	・レジーナフォトコンペティション　入選　(平成23年)
	・レジーナフォトコンペティション　敢闘賞　(平成23年)
	・第2回全国理容美容学生技術大会九州地区大会　敢闘賞　(平成23年)
	・レジーナフォトコンペティション　準入選　(平成24年)
	・レジーナフォトコンペティション　敢闘賞　(平成24年)
	・第5回全国理容美容学生技術大会九州地区大会　美容カット部門　優秀賞　(平成25年)
	・デザイナーズアワード2013　フォトコンテスト　サロン特別賞他　受賞
	・北九州市制50周年事業　こくらハロウィン　ヘア・メークショーに向けて、ショー構成、ヘアアレンジ、メークアップ指導。
	・オープンキャンパス、ヘアメイクショーへ向けて、ショーの構成、ヘアアレンジ・メイクアップ指導
	・北九州市制51周年事業　こくらハロウィン　ヘア・メークショーに向けて、ショー構成、ヘアアレンジ、メークアップ指導。
	・デザイナーズアワード2015　フォトコンテスト　サロン特別賞他　受賞
	・北九州市制52周年事業　こくらハロウィン　ヘア・メークショーに向けて、ショー構成、ヘアアレンジ、メークアップ指導。
主な研究活動	【論文】
	1.「動画活動によるe-ラーニング教材開発2」（共著） （東筑紫短期大学研究紀要　第37号、平成18年12月）
	（概要） 教育現場でのe-ラーニング導入は急速に進んでいる。しかし、その教材の作成方法や内容による学習効果には大きな差が出ることが指摘されている。こうした現実をふまえ、本研究は、e-ラーニングの効果的教材に関する研究を行った。また、その作成方法を示すことにより、今後のe-ラーニング教育の指針を明確にした。

	2.「“ヘア・メークアップ”の潜在需要に関する一考察 ～福祉事業における美容業の浸透性～」（単著） （東筑紫短期大学研究紀要　第41号、平成22年12月）
	（概要） 美容業は私たちの生活に欠かせない重要な役割を担っている。しかし、こうした環境において美容業の本質、価値、技術を未だに活かしきれていない分野がある。その一例として、本論分では福祉事業との関係に着目し、福祉の現場における美容業のあり方について、検討・考察した。
	3.「美容師国家試験と模擬試験結果の因果関係 ～模擬試験結果の推移にみる指導法の在り方～」（共著） （東筑紫短期大学研究紀要　第41号、平成22年12月）
	（概要） 本学（東筑紫短期大学）の美容ファッションコース教員一同は美容師国家試験の成果を高めるための方法として、定期的に模擬試験を実施してきた。本論文では、その結果にもとづく学生の習熟度の移行に着目し、その理解度に合わせた教育法について検討・考察した。その結果、国家試験合格率の向上にむけて効果的な指導法、ならびに段階的指導を確立することができた。
	4.「美容師教育に関する実践的研究～美容師の表現力育成～」（単著） （東筑紫短期大学研究紀要　第48号、平成29年12月）
	5.「美容師養成の現状と教育課程の課題に関する研究」（単著） （東筑紫短期大学研究紀要　第49号、平成30年12月）
	6.「美容師養成における問題解決技法の開発」技術による（単著） （東筑紫短期大学研究紀要　第50号、令和元年12月）
主な社会活動	・北九州市立年長者研修大学校周望学舎シニアカレッジ　講師 「5歳若返る、ヘア・メークアップ」：ヘア・メークアップ効果の説明とその実演 （平成22年10月～25年・26年）
	・ボランティア活動
	デイサービス　きっちゃ店：利用者に対するヘア・メークアップの実演　（平成22年7月） デイサービス　ひろき苑でのヘア・メークアップのボランティア」 ：利用者に対するヘア・メークアップの実演　（平成22年9月） デイサービス「ケアリングでのヘア・メークアップのボランティア」
	・北九州市立年長者研修大学校周望学舎シニアカレッジ　講師 「ヘア・メークアップの錯覚」 （平成27年10月）
	・北九州市立年長者研修大学校周望学舎シニアカレッジ　講師 「ヘア・メークアップの錯覚」 （平成28年10月）

恩田（オンダ） 美智子（ミチコ）　ONDA Michiko　講師

所　　属	東筑紫短期大学　美容ファッションビジネス学科
担 当 科 目	〔美容ファッションビジネス学科 学科共通科目〕 ・ネイルアート ・キャリアアップ演習Ⅱ 〔美容ファッションビジネス学科 美容師コース〕 ・美容文化論Ⅰ ・美容技術理論Ⅰ、美容技術理論Ⅱ ・美容実習Ⅰ、美容実習Ⅲ、美容実習Ⅴ
専 門 分 野	■　美容技術全般 理論・実習 ■　美容師国家試験指導 ■　ネイル技術
最 終 学 歴	福岡美容専門学院　北九州校　卒業
職　　歴	ル・ギャルソン、ギャルソンフェーム美容室　(昭和 61 年～平成 7 年) りら美容室　(平成 11 年～平成 18 年) 東筑紫短期大学 助手　(平成 18 年 4 月～平成 21 年 3 月) 東筑紫短期大学 助教　(平成 21 年 4 月～平成 27 年 3 月) 東筑紫短期大学 講師　(平成 27 年 4 月～現在に至る)
教育上の業績	○美容師国家試験対策として美容師国家試験（実技・筆記）を想定した、模擬試験を行う。 ○美容師国家試験筆記対策として予想問題の作成。 ○実技・筆記共に習熟度に合わせた個別指導の実施により合格率の向上を実現した。
	【国家試験結果】 第 17 回（平成 20 年 3 月） 新卒者 18 名受験　合格者 12 名　合格率 66.7%(全国合格率 80.8%) 第 18 回（平成 20 年 9 月） 既卒者 6 名受験　合格者 4 名　合格率 66.7%(全国合格率 50.4%) 第 19 回（平成 21 年 3 月） 新卒者 31 名受験　合格者 30 名　合格率 96.8%(全国合格率 81.0%) 既卒者　3 名受験　合格者 2 名　合格率 66.7%(全国合格率 81.0%) 第 20 回（平成 21 年 9 月） 既卒者　2 名受験　合格者 0 名　合格率　0%(全国合格率 50.6%) 第 21 回（平成 22 年 3 月） 新卒者 17 名受験　合格者 17 名　合格率 100%(全国合格率 80.5%) 既卒者　2 名受験　合格者　1 名　合格率 50.0%(全国合格率 80.5%) 第 22 回（平成 22 年 9 月） 既卒者　1 名受験　合格者　1 名　合格率 100%(全国合格率 45.2%) 第 23 回（平成 23 年 3 月） 新卒者 28 名受験　合格者 24 名　合格率 85.7%(全国合格率 80.0%) 第 24 回（平成 23 年 9 月） 既卒者　2 名受験　合格者　1 名　合格率 50.0%(全国合格率 48.8%) 第 25 回（平成 24 年 3 月） 新卒者 27 名受験　合格者 26 名　合格率 96.3%(全国合格率 86.1%) 第 26 回（平成 24 年 9 月） 既卒者　1 名受験　合格者　1 名　合格率 100%(全国合格率 45.0%) 第 27 回（平成 25 年 3 月） 新卒者 18 名受験　合格者 17 名　合格率 94.4%(全国合格率 80.4%) 第 28 回（平成 25 年 9 月） 新卒者　1 名受験　合格者　1 名　合格率 100%(全国合格率 49.4%)

	第29回（平成26年3月） 新卒者 18名受験　合格者 18名　　合格率 100%(全国合格率80.5%) **第30回（平成26年9月）** 新卒者　1名受験　合格者　1名　　合格率 100%(全国合格率54.7%) **第31回（平成27年3月）** 新卒者 19名受験　合格者 18名　　合格率94.7%(全国合格率88.9%) **第33回（平成28年3月）** 新卒者　9名受験　合格者　9名　　合格率 100%(全国合格率89.1%) 既卒者　1名受験　合格者　1名　　合格率 100%(全国合格率89.1%) **第35回（平成29年3月）** 新卒者 14 名受験　合格者 14 名　既卒　　合格率 100%(全国合格率89.1%) 者　1名受験　合格者　1名　　合格率 100%(全国合格率89.1%) **第37回（平成30年3月）** 新卒者 12名受験　合格者 12名　　合格率 100%(全国合格率85.8%) **第39回（平成31年3月）** 新卒者 11名受験　合格者 11名　　合格率 100%(全国合格率86.2%) **第41回（令和2年3月）** 新卒者 12名受験　合格者 10名　　合格率 91.7%(全国合格率85.1%)
	エステティックの教科を中心に、一般社団法人 日本エステティック協会主催「認定フェイシャルエステティシャン」検定受験へ向け、検定対策講座で模擬試験を実施し、学生へ指導を行う。 第28回より「認定フェイシャルエステティシャン・認定ボディエステティシャン」検定へ変更。
	【検定結果】　（全国合格率平均86%～87%） 第13回　合格率 94.4%（平成19年10月） 第14回　合格率 100%（平成20年2月） 第16回　合格率 100%（平成20年10月） 第17回　合格率 100%（平成21年2月） 第19回　合格率 100%（平成21年10月） 第22回　合格率93.9%（平成22年10月） 第25回　合格率91.7%（平成23年2月） 第26回　合格率100%　（平成24年2月） 第28回　フェイシャルのみ　合格率82.4% 第31回　ボディのみ　合格率100% 第34回　フェイシャル・ボディ　合格率100%（平成24年10月） 第40回　フェイシャルのみ　合格率100% フェイシャル・ボディ　合格率85.7%（平成25年10月） フェイシャルのみ　合格率67.0%（平成26年10月） フェイシャルエステティシャン合格率88.9%（平成28年10月）
	「ネイルアートⅠ・Ⅱ」、「ネイルアート基礎・演習」、「ネイルアート」の教科を中心に、一般財団法人 JNE 日本ネイリスト検定試験センター主催「ネイリスト技能検定試験」受験へ向け、検定対策講座で模擬試験を実施し、学生へ指導を行う。
	【検定結果】 第22回　3級合格率75.5%(全国合格率78.2%)　(平成19年10月) 第23回　2級合格率27.7%(全国合格率36.2%)　(平成20年4月) 第23回　3級合格率88.9%(全国合格率85.1%)　(平成20年4月) 第24回　2級合格率40.0%(全国合格率39.4%)　(平成20年10月) 第24回　3級合格率82.8%(全国合格率83.8%)　(平成20年10月) 第25回　2級合格率14.2%(全国合格率37.2%)　(平成21年4月) 第26回　2級合格率 62.5%(全国合格率51.5%)　(平成21年10月) 第26回　3級合格率 68.7%(全国合格率81.0%)　(平成21年10月)

	第27回	2級合格率 28.6%(全国合格率48.1%)	(平成22年4月)
	第27回	3級合格率 100%(全国合格率92.3%)	(平成22年4月)
	第28回	3級合格率 86.7%(全国合格率 92.0%)	(平成22年7月)
	第29回	1級合格率 50.0%(全国合格率42.1%)	(平成22年 10月)
	第29回	2級合格率 27.3%(全国合格率46.3%)	(平成22年10月)
	第29回	3級合格率 90.9%(全国合格率88.6%)	(平成22年10月)
	第30回	3級合格率 100%(全国合格率91.69%)	(平成23年7月)
	第33回	2級合格率 21.7%(全国合格率34.5%)	(平成23年10月)
	第33回	3級合格率 100%(全国合格率87.5%)	(平成23年10月)
	第35回	2級合格率 20.0%(全国合格率37.9%)	(平成24年4月)
	第35回	3級合格率 100%(全国合格率87.5%)	(平成24年4月)
	第36回	3級合格率 86.7%(全国合格率77.7%)	(平成24年7月)
	第37回	3級合格率 66.7%(全国合格率73.9%)	(平成24年10月)
	第40回	3級合格率 47.6%(全国合格率73.4%)	(平成25年7月)
	第42回	3級合格率 66.7%(全国合格率71.4%)	(平成26年1月)
	第46回	3級合格率 33.3%(全国合格率75.1%)	(平成27年1月)
	第49回	3級合格率 25.0%(全国合格率73.8%)	(平成27年10月)
	第50回	3級合格率 50.0%(全国合格率73.1%)	(平成28年1月)
	第52回	3級合格率 50.0%(全国合格率68.2%)	(平成28年7月)
	第56回	3級合格率 73.0%(全国合格率90.3%)	(平成29年7月)
	第60回	3級合格率 90.0%(全国合格率89.9%)	(平成30年7月)
	第64回	3級合格率 81.0%(全国合格率89.5%)	(令和 1年7月)
	第66回	2級合格率 100%(全国合格率48.8%)	(令和 2年1月)
	NPO法人JNA日本ネイリスト協会主催「ジェルネイル技能検定」受験へ向け検定対策講座で模擬試験を実施し、学生へ指導を行う。		
	【検定結果】 第 6回 初級合格率80.0%(平成24年 5月) 第 8回 初級合格率46.2%(平成25年 6月) 第19回 初級合格率 80.0%(平成30年12月) 第20回 初級合格率 100%(令和 1年 6月)		
	アロマセラピー基礎・演習、アロマセラピーの教科を中心に、 JAA日本アロマコーディネーター協会主催「アロマコーディネーターライセンス認定試験」受験へ向け、検定対策で模擬試験を実施し、学生へ指導を行う。		
	【検定結果】 第50回 94.1%(平成25年 6月) 第51回 100%(平成25年 10月) 第53回 100%(平成26年 6月) 第54回 100%(平成26年 10月) 第58回 100%(平成27年 10月) 第59回 100%(平成28年 2月) 第62回 100%(平成29年 2月) 第65回 100%(平成30年 2月) 第68回 100%(平成31年 2月) 第71回 100%(令和 2年 2月)		
	ヘア・メイクショー(オープンキャンパス、大学祭、卒業制作)へ向けて、 ファションとのトータルコーディネートを考え、ヘアアレンジ・メイクアップ・ネイルアートの指導。 (平成18 年～令和2年)		
	2009、2010 LIBRE FASHION FESTIVAL in ACROSファッションショーに向けて ファッション、ヘア・メイクとのトータル的なコーディネートを考えたネイルアートの指導。		

	全国理容美容学生技術大会九州地区大会に向けて競技種目 「ワインディング」「ネイルアート」の指導。 (平成23年～29年)
	【全国理容美容学生技術大会九州地区大会学生受賞歴】 ネイルアート　テーマ「ときめき」敢闘賞 (平成26年)
	【レジーナヘア＆メイクアップ・フォト・コンペティション学生受賞歴】 入選・準入選・敢闘賞 (平成20～24年)
	【デザイナーズアワードフォトコンテスト学生受賞歴】 サロン特別賞他 (平成25～30年)
	【こくらハロウィン北九州市制50周年記念事業】 北九州市市制50周年記念事業「こくらハロウィン」にて、特設ステージにおいて「ファッションショー」「ヘア・メイクショー」で参加するにあたり、ショーに向けて学生へファッション、ヘア・メイクとのトータル的なコーディネート、ネイルアートの指導。 (平成25～30年)
主な研究活動	教授会研究発表会において、美容ファッションビジネス学科 美容ファッションコース 教科「エステティック」「ネイル」をテーマとして発表 (平成18年)
	【論文】
	1.「美容師国家試験と模擬試験結果の因果関係 ～模擬試験結果の推移にみる指導法の在り方～」(共著) (東筑紫短期大学研究紀要　第41号、平成22年12月)
	(概要) 本学（東筑紫短期大学）の美容ファッションコース教員一同は美容師国家試験の成果を高めるための方法として、定期的に模擬試験を実施してきた。本論文では、その結果にもとづく学生の習熟度の移行に着目し、その理解度に合わせた教育法について検討・考察した。その結果、国家試験合格率の向上にむけて効果的な指導法、ならびに段階的指導を確立することができた。
	2.「ネイリスト技能の多面性と技術育成教育の在り方 ～東筑紫短期大学における教育事例を中心に～」(単著) (東筑紫短期大学研究紀要　第45号、平成26年12月)
	(概要) 東筑紫短期大学の美容ファッションビジネス学科で開講されているネイル関連科目の授業内容も踏まえネイリスト技能を習得することの意味を明確にするとともに、教育者の側面から技能育成方法について検討・考察した。その結果、ネイリスト技能の習得はトータルビューティーの追求によってますます注目を集め、技術はさらなる進歩を遂げていることがわかった。今後の課題として指導体制については工夫・改善し、技能育成にさらに効果的に指導できる体制を築いていかなければならない。
	3.「アロマセラピーの施術方法と心理的作用 ～施術体験者の調査をもとに～」(単著) (東筑紫短期大学研究紀要　第48号、平成29年12月)
	(概要) 心や身体に対して多くの作用があり、暮らしに役立てることができるアロマセラピーの需要拡大に向け、利用者の好みの香りと心理的作用の関係について、また筆者の施術体験と、被施術者の意識・意見調査をもとに分析、検討・考察をした。
	4.「美容師国家試験に向けた美容技術の技能育成教育について ～東筑紫短期大学における教育事例を中にもとに～」(単著)
	(概要) 美容師として顧客を満足させることができる美容技術の基礎を習得することの意味を明確にするとともに、美容師国家試験実技試験課題でもある、パーネントウエーブの基本的、かつ、代表的な技術であるワインディング技術の技能育成方法と、学生の理解、習熟度に合わせた教育法について検討・考察をした。その結果、美容師国家試験合格の向上にむけて効果的な指導法を確立するための手掛かり得ることが、また、美容師としての技術力の向上につなげることができた。

	5. 「美容師国家試験に向けた美容技術の技能育成教育について（2） ～東筑紫短期大学における教育事例を中にもとに～」（単著） （概要） 美容師実技試験課目第２課題であるワインディング技術の習得・技術向上に向けた技能育成方法について検討・考察した。美容師国家試験合格の向上にむけて、さらに効果的な指導法を確立するための手掛かりを得ること、また、美容師としての技術力の向上につなげることができた。
主な社会活動	・FBS よみうり文化センター「ヘア・アレンジメント」講師　（平成 17 年 10 月～平成 18 年 3 月）
	・周望学舎 シニアカレッジ 元気にシニアライフを愉しもう 2015 「アロマの楽しみ方 ～自分に合った香りのブレンド 健やかな心とからだのために～」 主催：北九州市立年長者研修大学校 周望学舎 指定管理者 北九州市社会福祉協議会・里山を考える会協同事業体 共催：学校法人 東筑紫学園（九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学）
	（概要） アロマセラピーで使用する精油についての知識や、アロマセラピーを手軽に日常生活に取り入れる方法を知っていただき、数種類の精油の中から、受講者自身の心とからだが心地よいと感じるお気に入りの香りを選び、個々にクラフトを作成した。手軽に取り入れられる芳香浴の中からエアーフレッシュナーを作る実習を行った。（平成 27 年 9 月）
	・周望学舎 シニアカレッジ 元気にシニアライフを愉しもう 2016 「自然の香りでデイリーケア ～健やかで生き生きとした肌に～」 主催：北九州市立年長者研修大学校 周望学舎 指定管理者 北九州市社会福祉協議会・里山を考える会協同事業体 共催：学校法人 東筑紫学園（九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学）
	（概要） 心とからだをいやし、健康や美容に役立てることが出来る自然療法の１つであるアロマセラピーを日常生活に取り入れていただけるよう、香りが働くメカニズムや精油の基礎知識を知っていただき、数種類の精油の中から、受講者の方の心とからだが心地よいと感じるお気に入りの香りの精油や、お肌の潤いをキープする効果の高い精油、保湿効果の高い精油を使って、肌タイプに合わせたみつろうクリームを作る実習を行った。（平成 28 年 10 月）
	・北九州ゆめみらいワーク 2017 ～ミライをえらべ～　体験ブース出展　（平成 29 年 8 月）
	・子育て支援事業　子育ち・親育ちの会『おやこでふれ合おう！楽しもう！』 「親子で手作りアロマ」講師　（平成 29 年 9 月）
	・周望学舎 シニアカレッジ 元気にシニアライフを愉しもう 2017 「アロマハンドトリートメント ～手から体と心を癒しましょう～」 主催：北九州市立年長者研修大学校 周望学舎 指定管理者 北九州市社会福祉協議会・里山を考える会協同事業体 共催：学校法人 東筑紫学園（九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学）
	（概要） 心地よいと感じるお気に入りの香りの精油と、保湿作用やアンチエイジングなどさまざまな効果が期待される植物オイルでトリートメントオイルを作成。そのオイルで、アロマハンドトリートメント（全身への施術と同様の効果が期待される手の反射区にアプローチ）を行い、心や体を癒し疲れやストレスをやわらげる実習を行った。（平成 29 年 10 月）
	・北九州市立年長者研修大学校 周望学舎 「心と身体の健康コース」 「アロマの楽しみ方①②」講師　（平成 29 年 10 月）
	・北九州市立年長者研修大学校 周望学舎 短期講座 「アロマセラピー教室」講師　（平成 30 年 6～9 月）
	・北九州市立年長者研修大学校 周望学舎 「心と身体の健康コース」 「自然の香りでデイリーケア」アロマの楽しみ方①②講師　（平成 30 年 7･8 月・令和元年 8 月）
	・北九州ゆめみらいワーク 2018 ～一緒に未来をつくろう～　体験ブース出展（平成 30 年　8 月）
	・北九州市立年長者研修大学校 穴生学舎 「心と身体の健康コース」 「アロマの香り　デイリーケア」講師　（平成 30 年 9 月・令和元年 10 月）

	・北九州市立 守恒市民センター 健康守恒クラブ 「認知症予防とアロマの効果について」講師 （平成30年11 月）
	・周望学舎 シニアカレッジ 元気にシニアライフを愉しもう 2019 「アロマヘッドトリートメント ～いつまでも自分らしくいるために～」 主催：北九州市立年長者研修大学校 周望学舎 指定管理者 北九州市社会福祉協議会・里山を考える会協同事業体 共催：学校法人 東筑紫学園（九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学）
	（概要） 植物の香りや働きによって、心や体をおだやかに調整し、健康増進や美容に役立てていくことがきるアロマセラピー。誰もが気になる認知症の予防を、認知症予防に役立つ精油と植物油を使い、アロマのセルフヘッドトリートメントの実習を行った。 （令和元年10 月）
所 属 学 会	JAA 日本アロマコーディネーター協会 （平成16年～現在に至る） 一般社団法人 日本エステティック協会 （平成21年～現在に至る） NPO 法人 日本ネイリスト協会 （平成26年～現在に至る）
受 賞 歴	ウエラ主催 ワィンディングコンクール県大会

赤﨑（アカサキ） 知美（トモミ） AKASAKI Tomomi　講師

所　　属	東筑紫短期大学　美容ファッションビジネス学科
担 当 科 目	〔美容ファッションビジネス学科 学科共通科目〕 ・ヘアメークアップ ・初年次教育・キャリアアップ演習Ⅰ 〔美容ファッションビジネス学科 美容師コース〕 ・美容運営管理 ・美容福祉 ・美容総合技術Ⅰ・Ⅱ ・美容実習Ⅰ、美容実習Ⅲ
専 門 分 野	■ 美容全般
最 終 学 歴	カネボウ総合美容学校
職　　歴	(株)サロンド・ユー(東京)他　美容室の経験を経て 福岡美容専門学校　（平成 11 年 4 月～平成 20 年 3 月） 東筑紫短期大学　美容ファッションビジネス学科　非常勤講師 （平成 20 年 4 月～平成 21 年 3 月） 東筑紫短期大学　美容ファッションビジネス学科　助教　（平成 21 年 4 月～平成 27 年 3 月） 東筑紫短期大学　美容ファッションビジネス学科　非常勤講師 （平成 27 年 4 月～平成 29 年 3 月） 東筑紫短期大学　美容ファッションビジネス学科　講師 （平成 29 年 4 月～　現在に至る）
教育上の業績	○美容師国家試験対策として、美容師国家試験を規定した模擬試験を行う。
	○美容師国家試験対策を想定し筆記試験作成。
	○実技・筆記共に習熟度に合わせた個別指導の実施により、合格率の向上を実現した。
	【国家試験結果】
	第 21 回　（平成 22 年 3 月） 新卒者 17 名受験 合格者 17 名　合格率　100%(全国合格率 80.5%) 既卒者　2 名受験 合格者　1 名　合格率　50%(全国合格率 80.5%)
	第 22 回　（平成 22 年 9 月） 既卒者　1 名受験 合格者　1 名　合格率　100%(全国合格率 45.2%)
	第 23 回　（平成 23 年 3 月） 新卒者 28 名受験 合格者 24 名　合格率　85.7%(全国合格率 80.0%)
	第 24 回　（平成 23 年 9 月） 既卒者 2 名受験 合格者　1 名　合格率　50%(全国合格率 48.8%)
	第 25 回　（平成 24 年 3 月） 新卒者 27 名受験 合格者 26 名　合格率　96.3%(全国合格率 86.1%)
	第 26 回　（平成 24 年 9 月） 既卒者 1 名受験 合格者　1 名　合格率　100%（全国平均 45.0%）
	第 27 回　（平成 25 年 3 月） 新卒者 18 名受験 合格者　17 名　合格率　94.4%(全国平均 80.4%)
	第 28 回　（平成 25 年 9 月） 既卒者　1 名受験 合格者　1 名　合格率　100%(全国平均 49.4%)
	第 29 回　（平成 26 年 3 月） 新卒者 18 名受験 合格者　18 名　合格率　100%(全国平均 80.5%)
	第 30 回　（平成 26 年　9 月） 既卒者　1 名受験　合格者　1 名　合格率　100%（全国平均 54.7%）
	第 22 回　（平成 22 年 9 月） 既卒者　1 名受験 合格者　1 名　合格率　100%(全国合格率 45.2%)

	第31回（平成27年　3月） 新卒者　19名受験 合格者　18名　　合格率　94.7%(全国平均88.9%)
	第37回（平成30年　3月） 新卒者　12名受験　合格者 12名　　合格率　100%(全国平均85.8%)
	第39回（平成31年　3月） 新卒者　11名受験　合格者 11名　　合格率　100%（全国平均86.2%）
	第41回（令和2年　3月） 新卒者　14名受験　合格者 13名　　合格率　92.8%（全国平均85.1%）
	○オープンキャンパス 、ヘア・メイクショーへ向けてのショーの構成、 ヘアアレンジ・メイクアップ指導
	○北九州市制50周年事業「こくらハロウィン」　ヘア・メイクショーへ向けてのショー構成、 ヘアアレンジ・メイクアップ指導
	【教科「美容実習」で指導した学生の受賞歴】
	・第9回　レジーナフォトコンペティション　準入選賞・敢闘賞 ・第3回　全国理容美容学生技術大会　九州地区大会 アップスタイル部門　敢闘賞 ・第4回　全国理容美容学生技術大会　九州地区大会 アップスタイル部門　敢闘賞 ・第5回　全国理容美容学生技術大会　九州地区大会 美容カット部門　優秀賞　　全国大会出場
主な社会活動	・チャリティー活動（主催：東京都品川区　サロン・ド・U） 地域住民との触れ合いを大切にする活動の一環として実施している。 具体的にはチャリティーカットの実施。
	・ボランティア活動（主催：ケアハウス小倉・ディサービスセンター　） 高齢者方たちにメイクやマッサージなどを施し、肌に触れることによってコミュニケーションをするというボランティア。
	・周望学舎のシニアカレッジ　『頭皮を健やかにして「脳疲労」解消』(平成29年　9月）　講師
	・子育て支援事業計画　子育ち・親育ちの会「親子でふれ合おう！楽しもう！」 「親子で手作りアロマ」バスフィズ&ルームフレグランス　講師

冨山（トミヤマ） 禎信（ヨシノブ） Yoshinobu Tomiyama 講師

所　　属	東筑紫短期大学　　美容ファッションビジネス学科
担当科目	〔美容ファッションビジネス学科〕 ビジネス・コンピューティングⅡ キャリアアップ演習Ⅱ 簿記実務演習 美容ファッションビジネス論 〔食物栄養学科〕 情報処理学演習Ⅰ
専門分野	■ 経営情報論 ■ 経営管理論 ■ 人的資源管理論
最終学歴	九州情報大学大学院 経営情報学研究科博士後期課程 単位取得退学
学　　位	修士（学術）
職　　歴	トミヤマテクニカルサービス（個人事業主）（平成10年6月～平成14年3月） 水巻町立吉田小学校（情報推進員）（平成14年4月～平成15年3月） 福岡県立遠賀高等学校（非常勤講師）（平成15年4月～平成16年3月） 福岡県立遠賀高等学校（常勤講師）（平成16年4月～平成17年3月） 福岡県立福島高等学校（常勤講師）（平成17年4月～平成18年3月） 福岡県立東鷹高等学校（常勤講師）（平成18年4月～平成21年3月） 福岡県立筑豊高等学校（常勤講師）（平成21年4月～平成23年3月） 福岡県立田川科学技術高等学校（常勤講師）（平成23年4月～平成26年3月） 福岡県立東鷹高等学校定時制課程（商業科主任, 常勤講師）（平成26年4月～平成29年3月） 福岡県立東鷹高等学校定時制課程（進路指導主事, 常勤講師）（平成29年4月～平成30年3月） 東筑紫短期大学 美容ファッションビジネス学科 講師（平成30年4月～現在に至る）
主な研究活動	【著書】 「感動に変わるサービス－社会人の教科書」（共著）中小企業研究会出版　ISBN978-4-905460-80-8 （概要） 分担執筆「顧客感動は期待の裏切りから創られる」pp.16-19 R.ｵﾘﾊﾞｰの提唱する「期待不確認モデル」と「本質・表層機能」という2つの分析道具を用いて顧客満足の仕組みを紐解いた。提供される商品とサービス内容が驚きとして仕掛けられて顧客にプレゼンテーションされていることで、それが顧客満足を生み、リピーターになっていく事例を紹介した。 【論文】 1.「日本的経営システムにおける本質的特性に関する研究」（単著）修士学位論文（平成12年3月） （概要） わが国に特異とされる経営の諸ｻﾌﾞｼｽﾃﾑ（長期雇用慣行、年功序列、稟議制度、ジョブ・ローテーションなど）の構造と機能を分解していくと、それぞれのｻﾌﾞｼｽﾃﾑは①「情報の共有」②「相互協力の助長」・③「有機的で水入らずなコミュニケーションのあり方」を取らざるを得ないように仕組まれていることがわかった。経営改革のためのｻﾌﾞｼｽﾃﾑの制度移入には、この3つを阻害しないようにあるべきと論じた。 2.「プロダクト・ポートフォリオ・マネジメントに関する一考察」（単著） 遠賀高等学校研究紀要第10号 p.p.58-75（平成15年3月） （概要） BCG社が構築した経営手法であるプロダクト・ポートフォリオ・マネジメント（PPM）の、その現代的有効性を検討した。PPMの理論的土台となる「プロダクト・ライフサイクル」と「経験効果」を数理的に吟味した。現代的意義は大量生産による競争力の向上があげられる。しかし、相対的市場占有率と市場成長率のみを指標とした分析方法であり、他の社会的要因が排除されている危険をはらんでいることを論じた。

3.「経験効果の基礎理論と応用戦略の原理に関する一考察」（単著）
福岡県商業高等学校教育研究紀要第 44 号 p.p.104-114（平成 18 年 9 月）

（概要）
経験効果の概念は、一般にはとかく曖昧に捉えられている。これを整理するため、類似概念である規模の経済性と対比することで、経験効果の定義と概念を浮き彫りにする作業をおこなった。また、製造企業が経験効果を援用するにあたって、大資本をもとにした大量生産を実行している大企業と同じ土俵の下で中小企業は戦うべきではないことを数理的に説明し、これを論究した。

4.『いわゆる「学力底辺校」の授業改善に関する体験と方法』（単著）
日本経営管理協会『経営管理』9.10 月号 p.p.11-18（平成 19 年 9 月）

（概要）
いわゆる「学力底辺校」では、授業を聞く気さえない、私語をする、寝る、廊下に出る、暴れる、などの事象があふれている。聞取の結果、理解できていないにもかかわらず、机に縛りつけられからということがわかった。つまり、抑圧された状態なのである。これを改善しようと M.P フォレットの管理論を援用した授業の「仕掛け」を考えた。生徒の面白いやわくわく感を湧き立たせる『巻き込み戦略』と『競争原理の導入』の方法を示し、授業改善の具体的方法を論じた。

5.「定時制教育の現状と今後のあり方について
－新入生に対する過年度調査との比較による一考察－」（単著）
福岡県高等学校教育研究会研究紀要第 33 号 p.p.15-30（平成 20 年 1 月）

（概要）【共著者】引田厚司、江崎健史、平山剛、冨山禎信、久藤元嗣 pp.15-19 を担当。
福岡県下の定時制高等学校に在籍する全生徒を対象に質問紙調査を実施した。その結果、①学校にくる理由は友人との関係をたもつためであること②生徒の 95%が勉強それ自体に意欲や興味をもっていないこと③しかし「高卒」の資格は強く欲していることであった。この傾向は過年度と比較しても大幅な変化はなく定時課程の生徒の特徴であることがわかった。

6.「正しく情報を解読する能力の育成に関する一方策
－グラフを解読する力を育む学習指導について－」（単著）
福岡県高等学校教育研究会研究紀要第 33 号 p.p.102-110（平成 20 年 1 月）

（概要）
定時制高等学校の生徒に対して行った授業実践を記述した論文である。代表的なグラフである棒・折れ線グラフは、単純で多様あるがゆえに、その誤用や制作者の作為による捏造（グラフの罠）も行われやすい。そこで、グラフに隠された制作者の意図を解読し、生徒みずからグラフを作成する場合の正しい知識と作成手順を呈示した。Microsoft　Excel のグラフ作成機能を利用し、正しく情報を解読する能力の育成に関する一方策を展開した。

7.『「組織活性化の方策」組織の活性化こそ企業の活力源』（単著）
近代中小企業 12 月号中小企業研究会 p.p.14-17（平成 20 年 12 月）

（概要）
仕事への動機付けは、金銭的報酬だけに頼らない。従業員の管理方法として外的報酬を過度に用いずに、いかに組織活性化するかを論じた。すなわち部下に仕事の成功体験や自己肯定感（自分はできる社員だという意識）を植えつけるプロセスを企業組織内で繰り返し、スパイラルアップさせうるなら、部下の仕事への誘因は高まり、業績や成果の向上につながると論じた。

8.「定時制におけるキャリア教育の現状と課題」（共著）
福岡県高等学校研究会研究紀要第 34 号 p.p.77-92（平成 21 年 2 月）

（概要）【共著者】尾形正幸、柴田康弘、田中淳志、高原淳二、深田義幸、井手勇人、冨山禎信
pp.87-92 を担当
福岡県県下の定時制高校に通学する全生徒の進路状況を集約した。その結果、卒業時点で就職率・進学率ともに 10%（合計しても全体の 20%以下）であった。低位な就職率・進学率の状況を打開するため高校教育の現場で成果がみられる進路指導の取組みを渉猟した。各定時制高等学校に質問紙を用いて取組みを回答してもらい、その事例や改善された成果をまとめた。

9.「定時制高等学校における CS 分析を援用した授業改善の方法」（単著）
日本経営管理協会『経営管理』9.10 月号 p.p.12-19　（平成 21 年 9 月）

（概要）
「情報処理」の授業を構成するさまざまな要素の中で生徒は何を重要だと考えているのかを調査した。調査の結果、アンケート集約した生徒満足度を読み解くと、「授業理解」、「タイピングの有益さ」、「出席状況」、「ローマ字理解」の面で高い授業満足度を得ていることが分かった。しかし、その副作用として「授業の工夫」、生徒みずから自発的に授業に集中するような〈しかけ〉や〈授業空間づくり〉に改善の余地があることも明示された。

10.「21 世紀型の学校組織について－副校長,主幹教諭,指導教諭制度の現状とこれから」（共著）
福岡県高等学校研究会研究紀要第 34 号 p.p.77-92　（平成 22 年 1 月）

（概要）【共著者】矢山仁、山内省二、豊福成史、江藤芳子、冨山禎信 p.p.45-50 担当
学校組織の再編のため平成 20 年より福岡県は副校長・主幹教諭・指導教諭の職位を導入した。しかし、運用上の問題点が発生した。それは①各業務が細分化され、その動きが見えづらくなる②組織運営上、指導教諭の位置付けが曖昧なことである。これらは職務権限を規程として明確にしていないために発生しているが、新たな職が各校務分掌の要となっている現状も質問紙調査により明らかとなった。

11.「生徒指導における様々なアプローチの考察－各学校における取り組みについて－」（共著）
福岡県高等学校研究会研究紀要第 37 号 p.p.63-70　（平成 25 年 3 月）

（概要）【共著者】神崎隆世、冨山禎信、木村孝二、栗谷誠次、前田睦美
（課題設定の理由 p.63，指導の取組 pp..66-68，まとめ p.70 を執筆）
生徒指導提要及び教育振興基本計画を踏まえ、福岡県田川地区の各 4 校が取組んでいる生徒指導の活動について考察した。各学校の取組みの共通点は、生徒の内面に入り込むことであり、その生徒指導のあり方を考察した。

12.『若年従業員の「離職意向」に及ぼす影響要因の検討
―中小 IT 企業の実態調査を基礎として―』（単著）
関西ベンチャー学会誌 Vol.6　p.p.29-37　（平成 25 年 3 月）

（概要）
中小 IT 企業での離職要因を探索するため、正規従業員(35 歳以下)を対象に「離職意向」を目的変数としてステップワイズ法による重回帰分析を実施した。説明変数として抽出された項目は「商品への自信」「マニュアルの存在」「目標のレベルアップ」「他部門への移動希望」「上司からの業務命令の多さ」であった。これらを改善する取組みを履行すれば、中小 IT 企業の若手従業員の「離職意向」は抑えられることを論じた。

13.「定時制生徒における就業意欲の規定要因に関する研究」（単著）
福岡県高等学校研究会研究紀要第 41 号 pp.59-69（平成 28 年 2 月）

（概要）
福岡県の全定時制高校の生徒 947 名の質問紙をもとに統計処理は EZR for Windows を用いて研究を進めた。因子分析では「人間関係形成・社会形成能力」「キャリアプランニング能力」「課題対応能力」の 3 因子を探索できた。それをもとに重回帰分析では目的変数を「就業意欲」とし、因子分析で探索した 3 因子を説明変数とした。もっと影響力が高いのは「キャリアプランニング能力」であり、これを高めれば、「就業意欲」が高まることが明示された。

14.『中小企業の早期離職に対応する「内発的動機付け」の効用と限界』（共著）
九州情報大学研究論集第 19 巻 pp.63-72（平成 29 年 4 月）

（概要）【共著者】冨山禎信、井沢良智　pp.63-72 を冨山が執筆を担当するが、2 人で議論をしつつ、その内容を論文として構成したため共著としている。
中小企業では大企業に比して新卒従業員の早期離職率が高い。その対応策として「内発的動機付け」が注目されている。「内発的動機付け」の離職抑止効果は産業界と先行研究のいずれも、ほぼ一貫して有効であるとの見解である。しかし、厚生労働省『雇用実態調査』の結果では、そうと判断しにくい結果となっている。そこで本当に有効であるといえるのかを検証する必要性があることを論じた。

15.『情報関連授業における成績評価の納得性』（単著）
東筑紫短期大学研究紀要 49 巻 pp.63-72（平成 30 年 12 月）

（概要）
成績評価の目的は、学習内容が確実に定着するよう学習の改善につなげることにある。しかし、実際の運用で、学生が評価に納得できていないとのケースも散見される。その場合、学習の改善に資するのではなく反対に学習を辞めてしまう可能性が高まる。成績評価の納得性には何の要因が影響をおよぼしているのかを探索し、もっとも納得しうる方法を策定するため、学生（N=60）を対象に質問紙調査を実施した。回収したデータを CS 分析及び重回帰分析にかけた。その結果、CS 分析では「教師の公平性」「課題への積極性」「教師の熱意」が重点維持項目として位置づけられた。さらにステップワイズ法を採用した重回帰分析では、調整済決定係数 0.624 で「興味関心」「教師の公平性」が検出された。CS 分析及び重回帰分析では、「教師の公平性」が成績評価に強く影響している、つまり課題や試験の内容よりも、教師の人となりで成績の納得性が決定されるということがわかった。したがって、教師と学生の人間関係の良好さが重要であることが指摘しうる。

16. 『「手段の目的化」の発生原因と抑制方法に関する予備的考察』（単著）
東筑紫短期大学研究紀要 50 巻 pp. 61-73（令和元年 12 月）

（概要）
本来、目的を達成するはずのための手段が、いつのまにか目的に転化してしまうことを「手段の目的化」という。先行研究として Simon によると、この現象の原因は「組織の階層性」にあとるしている。抑止の方法としては「目的を達成する誘因」「手段を使用した時の誘因」を比較衡量し、目的のほうの利得を荷重する事によって、「手段の目的化」を抑止可能であることを論じた。

17.『中小企業における離職抑制方法としてのフォレット管理論』（単著）
関西ベンチャー学会誌 Vol.12,pp. 53-62（令和 2 年 2 月）

（概要）
厚生労働省『雇用動向調査』及び野村総合研究所『中小企業・小規模事業者の人材確保と育成に関する調査』によると、中小企業における従業員の離職理由は、労働条件（賃金、休日数等）、職務のストレス、職場の人間関係に関する要因に集約される。労働条件を改善する原資に乏しく、経営基盤の弱い中小企業であるならば、労働条件の向上に踏み切るのは困難である。しかし、離職理由の他の要因である仕事ストレスと職場の人間関係を改善しうるならば、従業員の離職を抑制可能であると考えられる。
そこで、仕事ストレスと職場の人間関係の解決を図るために、フォレットの管理論（統合の理論、命令の非人格化、状況の法則、共同性）を援用し、企業と従業員との関係を二項対立と捉えず、双方ともに何も譲らず満足させる方法を採用することを提案した。

【学会発表】

1.「定時制教育の現状と今後のあり方について
－新入生に対する過年度調査との比較による一考察－」（共同）
〈主催〉福岡県高等学校教育研究会
〈開催場所〉夏季研究大会　（都久志会館）
〈開催年月日〉平成 20 年 8 月

（概要）
平成 20 年度 福岡県教育研究会教育研究費補助金事業 中間報告（前掲）

2.「定時制におけるｷｬﾘｱ教育の現状と課題」（共同）
〈主催〉福岡県高等学校教育研究会
〈開催場所〉都久志会館
〈開催年月日〉平成 21 年 8 月

（概要）
平成 21 年度 福岡県教育研究会教育研究費補助金事業 中間報告（前掲）

	3.「授業改善に関するﾌｫﾚｯﾄ管理論の射程」（単独） 〈主催〉日本企業経営学会 〈開催場所〉第６回全国大会（伏見ﾗｲﾌﾌﾟﾗｻﾞ） 〈開催年月日〉平成21年８月
	（概要） 低学力・低意欲の生徒たちには、学習を強要するのでなく、どう楽しく学ばせるかという方法を授業を通じて実験し、仮説検証を行った。すなわち、M.P.フォレットの統合理論を応用したかたちで、授業は生徒にとって抑圧とはならない仕掛けである巻き込み戦略・競争原理の導入を考案し、その具体的方法を提示すると共に、情報処理授業の成立において本実験モデル（仕掛け）の妥当性があること立証し、これを発表した。
	4.「労働意欲を高める人事管理のあり方に関する研究」（単独） 〈主催〉日本マネジメント学会　九州部会 〈開催場所〉お茶の水医療福祉専門学校 〈開催年月日〉平成22年７月
	（概要） 各種文献調査を総合した結果、我が国の労働意欲は、世界の中でも下位であることがわかった。そのため、我が国においてどのようなﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄのあり方が人々の労働意欲を高めるのかを発表した。
	5.「21世紀型の学校組織について－副校長・主幹教諭・指導教諭制度の現状とこれから－」（共同） 〈主催〉福岡県高等学校教育研究会 〈開催場所〉夏季研究大会（都久志会館） 〈開催年月日〉平成22年８月
	（概要） 平成22年度福岡県教育研究会教育研究費補助金事業　中間報告（前掲）
	6.「生徒指導における様々なアプローチの考察－各学校における取り組みについて－」（共同） 〈主催〉福岡県高等学校教育研究会 〈開催場所〉夏季研究大会（福岡リーセントホテル） 〈開催年月日〉平成25年８月
	（概要） 平成25年度福岡県教育研究会教育研究費補助金事業　中間報告（前掲）
	7.「生徒の権威受容に関する調査研究－高等学校を対象として－」（単独） 〈主催〉関西ﾍﾞﾝﾁｬｰ学会九州部会 〈開催場所〉九州部会（博多第一ホテル） 〈開催年月日〉平成25年２月
	（概要） いわゆる「教育困難校」・「困難校から脱しつつある学校」・「中堅校」と地域から教科されている学校を対象に生徒の権威受容の差を検定、Shapiro-Wilk、Kruskal-Wallis検定・Mann-WhitneyのU検定を実施した。その結果、「教育困難校」は他の２つの学校より「荒れ」ていることが証明された。「荒れ」を鎮める対処法として「困難校から脱しつつある学校」では実際にｾﾞﾛﾄﾚﾗﾝｽ方式（非寛容な対応）が採用され、状況は改善されていることが分かった。
	8.　Trends and Problem of Research So-called " High School with Education Difficulties " 〈主催〉日本企業経営学会（日本）・亜細亜企業経営學會（韓國）第９回 国際学術研究大会 〈開催場所〉じゅうろくプラザ（岐阜市文化産業交流センター） 〈開催年月日〉平成27年２月
	（概要） いわゆる「教育困難校」をめぐる先行研究で、経営学的視点でもって、説明されているものは、きわめて少ない。そこで、Barnardの権限受容説と無関心圏の概念を用いるなら、生徒の「荒れ」を説明できることを論じた。また、「荒れ」への対応や中退現象を説明するのには高橋伸夫の提唱した概念である体感温度仮説が有用であること、そして組織慣性の概念で捉える必要があることを指摘した。

	9.　中小企業における若年従業員のリテンション・マネジメントーM.P.フォレットの所論からー 〈主催〉日本企業経営学会九州部会 〈開催場所〉九州共立大学 〈開催年月日〉平成29年12月 （概要） 労働条件を改善する原資に乏しく、経営基盤の弱い中小企業であるならば、労働条件の向上に踏み切るのは困難である。しかし、離職理由の他の要因である仕事ストレスと職場の人間関係を改善しうるならば、従業員の離職を抑制可能であると考えられる。 そこで、仕事ストレスと職場の人間関係の解決を図るために、M.P.フォレットの管理論（統合の理論、命令の非人格化、状況の法則、共同性）を援用し、企業と従業員との関係を二項対立と捉えず、双方ともに何も譲らず満足させる方法を採用することを提案した。
	10.　情報処理演習における成績評価の納得性に関する研究（単独） 〈主催〉日本企業経営学会第57 回研究部会（山口大会） 〈開催場所〉山口短期大学 〈開催年月日〉平成30年12月 （概要） 成績評価の目的は、学習内容が確実に定着するよう学習の改善につなげることにある。しかし、実際の運用で、学生が評価に納得できていないとのケースも散見される。その場合、学習の改善に資するのではなく反対に学習を辞めてしまう可能性が高まる。成績評価の納得性には何の要因が影響をおよぼしているのかを探索し、もっとも納得しうる方法を策定するため、学生（N=60）を対象に質問紙調査を実施した。 回収したデータをCS分析及び重回帰分析にかけた。その結果、CS分析では「教師の公平性」「課題への積極性」「教師の熱意」が重点維持項目として位置づけられた。さらにステップワイズ法を採用した重回帰分析では、調整済決定係数0.624で「興味関心」「教師の公平性」が検出された。CS分析及び重回帰分析では、「教師の公平性」が成績評価に強く影響している、つまり課題や試験の内容よりも、教師の人となりで成績の納得性が決定されるということがわかった。したがって、教師と学生の人間関係の良好さが重要であることが指摘しうると提言した。
	11.「職務充実度と離職意向」の関係性と「離職抑制強度」の検討（単独） 〈主催〉日本企業経営学会第17 回全国大会 〈開催場所〉拓殖大学 〈開催年月日〉令和元年8月 （概要） リサーチクエッションとして、他の複数の先行研究をもとに「内発的動機づけ」や「ワークエンゲージント」と「離職意向」の関係は、一貫して「関連がある」と分析しているが実際はどうかを探索した。研究対象は、中小のIT企業（インターネット付随サービス業の中小企業）A社の35歳未満の従業員を研究の対象（n=57）とした。内発的動機・ワークエンゲージメント関連の結果は、他の同様の研究と比較してA社は仕事のやりがい・達成感・没頭のレベルは高いことが明示された。しかし、クロス集計の結果、内発的動機・ワークエンゲージメント尺度の高位群と離職意向尺度の高位群は27いることが判明した。内発的動機・ワークエンゲージメントが高いにもかかわらず、離職意向も高位なのかとの理由を自由回答の記述と重回帰分析（ステップワイズ法）結果から、「給料への不満」「フリンジベネフィットのなさ」「休日の少なさ」「業務命令の多さ」「目標のレベルアップ（ラチェット効果）」「商品への自信のなさ」「マニュアルの存在」「他部門へ移動したい気持ち」があることがわかった。したがって、「内発的動機づけ」や「ワークエンゲージント」を高めることはは「離職意向」の低減に影響を及ぼすと考えてよいが、特効薬ではないことが示唆された。
主な社会活動	大阪観光大学観光学研究所　客員研究員　（平成21年1月～平成28年3月） 福智町学童保育連絡協議会　理事部会　副会長　（令和元年5月～現在に至る）
所　属　学　会	日本企業経営学会　正会員　（平成18年4月～現在に至る） 日本マネジメント学会　正会員　（平成21年 4月～現在に至る） 関西ベンチャー学会　正会員　（平成22年10月～現在に至る）
受　賞　歴	（社）日本経営管理協会懸賞論文経営管理黒澤賞（佳作賞）受賞　（平成19年 7月） 福岡県高等学校教育研究会懸賞論文　優秀賞受賞　（平成20年 2月）

	（社）鉄道身障者協会　ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ懸賞作品	2位入賞	（平成20年10月）
	（社）日本経営管理協会懸賞論文経営管理黒澤賞（佳作賞）受賞		（平成21年 7月）
	福岡県高等学校教育研究会懸賞論文	優良賞受賞	（平成28年 2月）

池畑（イケハタ） 雅子（マサコ） IKEHATA Masako 助手

所　　属	東筑紫短期大学　美容ファッションビジネス学科
担当科目 〔講義補助〕	〔美容ファッションビジネス学科〕 ・グラフィックデザインⅠ、グラフィックデザインⅡ ・ポートフォリオデザイン 〔保育学科〕 ・情報処理学 〔食物栄養学科〕 ・情報処理学
専門分野	■ 情報学
最終学歴	東筑紫短期大学　食物栄養学科
学　　位	短期大学士
職　　歴	東筑紫短期大学　副手　（昭和 57 年 5 月 1 日～昭和 63 年 3 月 31 日） 東筑紫短期大学　助手　（昭和 63 年 4 月 1 日～現在に至る）
教育上の業績	○日商 PC 検定（文書作成・データ活用）2 級および 3 級の検定対策特別講座を教科担当と協力して検定試験前にも実施し、効果をあげている。
主な研究活動	【論文】 1.「産学連携による靴下共同開発」（共著） （東筑紫短期大学研究紀要　第 42 号　平成 23 年 12 月） （概要） 東筑紫短期大学と（株）藤本コーポレーションは 2011 年 4 月より靴下の共同開発を産学連携プロジェクトとして進めてきた。その経過報告とそこで制作した靴下『Nostalgie Noir ～追憶の黒』が「第 17 回靴下求評展（主催：日本靴下協会）」で「特別賞（デザイン部門）」を受賞したことを発表。 2.「産学連携による靴下共同開発(2)」（共著） （東筑紫短期大学研究紀要　第 43 号　平成 24 年 12 月） （概要） 引き続き、産学連携プロジェクトとして靴下の共同開発を進め、新商品を開発（2012 年 2 月発表）し、ネットショップで販売した。その企画から販売までの過程についての報告。
主な社会活動	・産学連携新商品開発　靴下プロジェクト　「 Macaron Party 」 （概要） 東筑紫短期大学 美容ファッションビジネス学科 トータルファッションコース 2 年生（2012 年 3 月卒業）が、地元靴下メーカーの（株）藤本コーポレーションと 2011 年 4 月より推進し、新商品の靴下を制作。「着圧機能」を持たせ、マテリアルの糸選びから、製品のテクスチャー、はきごこちまで考察を重ね、パッケージデザインやラッピング、ネット販売ルートまで全てを検討し商品化した。 （平成 24 年 2 月 25 日～発表） ・産学連携新商品開発　靴下プロジェクト　「 Macaron Party 」 第 17 回福岡産業デザイン展（主催：福岡県・福岡県産業デザイン協議会）において展示。 （平成 24 年 10 月）